

平成 29 年度職員採用試験（大学卒業程度）
総合土木 専門記述試験（29. 6. 25）

次の 3 つの課題のうち、いずれか 1 つの課題について答えなさい。

＝ 課 題 1 ＝

○中長期的なインフラ老朽化対策について

高度成長期に整備された多くの公共土木施設が、将来、集中的に更新時期を迎えることから、部分的な補修を行う維持工事、施設の損傷を回復・予防するための修繕工事、施設の全部を再度建設する更新工事に要する費用が増大することが懸念されています。

このため、広島県では、次世代への財政負担の軽減を図るため、インフラ老朽化対策の取組方針をまとめた「インフラ老朽化対策の中長期的な枠組み」を平成 26 年 9 月に策定しました。

そこで、当該取組方針を踏まえて、広島県が管理する道路や河川などのインフラ老朽化対策に係る課題と解決策について、あなたの考えを具体的に述べなさい。

＝ 課 題 2 ＝

○キャベツの生産量拡大のための農業基盤の整備について

広島県では、農業が魅力ある産業となるよう、高収益の園芸作物の導入を促進して、農業の担い手の所得向上を図る必要があると考え、

- ・広島市などの大消費地を抱えていること
- ・加工業務用の需要（お好み焼き、コンビニの野菜サラダなど）が多く、年間を通じて需要があること
- ・県内市場への供給率が低いこと（約7%）

などから、キャベツの生産拡大を進めているところです。

一方で、広島県の農地は水田が主で、その7割は、ほ場整備が完了していません※が、主食用米の需要が年々減少している中で、需要に応じた生産が求められており、農業の担い手の高齢化もあいまって、遊休化する水田の有効活用が求められています。

そこで、あなたが農林水産行政の農業基盤整備の担当者として、水田を活用して大規模にキャベツ生産を進めていく場合の、

- ① 技術的な課題を2点挙げ
 - ② それぞれの課題に対して講じるべき対策
- について、具体的に述べなさい。

※ 1区画30a程度で、中山間地域に位置するものが多い

＝ 課 題 3 ＝

○個別事業の整備計画策定における記載内容や考え方について

これまで広島県では、社会資本である道路や河川などについて、個別に事業の整備計画を策定した上で着実に整備を進めることにより、社会経済活動や住民生活の安全・安心を支えてきました。

この整備計画は一定の期間における施設整備等の指針となるもので、その期間内ではそれに沿って整備や維持管理等が進められます。

そこで、次のうち一つの社会資本を選択し、その整備計画に記載すべき内容と留意すべきことについて述べるとともに、現在の広島県の課題を踏まえた上で、その事業で重要だと思ふ施策及び取組について具体的に述べなさい。

- ① 道路
- ② 河川
- ③ 砂防
- ④ 港湾
- ⑤ 下水道